

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和元年度)

## 2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ①グリーン分野 (1/6)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
レアメタル等リサイクル資源特区 (秋田県)	4.7	4.5  進捗度 ・環境・リサイクル関連企業の製造品出荷額 141%  ・特区に搬入されたリサイクル対象となる家電等金属系使用済製品(廃基板等の副産物を含む)の搬入量(国内、アジア地域) 90%	4.2  財政支援等 ・廃太陽光発電パネルの広域収集網の構築に係るモデル事業  地域独自の取組 ・環境調和型産業集積支援事業等	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価指標はほぼ達成されている。県独自の補助事業も積極的に活用しながら進められており、東日本の廃太陽光発電システムのリサイクル拠点となることも目指しているなど、極めて順調に進捗している。</li> <li>・地域(県)独自の支援事業や助成事業に、積極的に取り組んでいる。</li> <li>・小型家電等の回収量の増加に向けて、啓発活動の充実に加えて、複数市町村の連携やIoTセンサー活用など、さらなる回収の効率化に向けた検討に期待。</li> <li>・財政制度の活用は進められているものの、税制、金融制度の活用の検討も期待。</li> <li>・搬入されたリサイクル対象製品の搬入量はここ3年減少傾向にあるが、アジアにおける輸出規制等の理由と分析ができており、今後太陽光パネルの回収事業が本格化することなどで更なる成長を見込むことができる。</li> </ul>